

# 指定管理業務評価結果書

## 1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	老人福祉センター 倉敷市有城荘
(2) 指定管理者	所在地 倉敷市笹沖180 名称 社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団 代表者 理事長 山崎 要
(3) 公の施設の所管部署	健康福祉部健康長寿課
(4) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

## 2 総合評価結果

(1) 市の評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年2月1日に実施した立入監査の結果、良好な管理運営がなされていることが確認できた。</li> <li>・令和5年3月に実施したアンケート調査の結果、現行の指定管理者は、利用者から好感を持って受け入れられていることが確認できた。</li> <li>・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、引き続き、利用者の安全を第一に考え、マスク着用や三密回避等の基本的な感染対策に加え、入館時の検温、利用者名簿作成、部屋の人数制限、共有スペース・物品の消毒、大きな声を出す活動の制限等に取り組んでいることは評価できる。</li> <li>・以上の点から、評価対象期間において、社会福祉法人倉敷市総合福祉事業団は適切に指定管理業務を遂行したと判断する。</li> </ul>	総合評価
		S
(2) 指定管理者の自己評価	<p>地域の高齢者に対し各種の相談に応じるとともに、様々な講座や事業を実施して、学ぶ意欲に応え創作を楽しむ場を提供しました。6月末までは総合福祉会館3階で開館し、約1か月の休館の後、7月29日から新築の「くらしきすこやかプラザ」1階で運営を再開しました。木のぬくもりと開放感のある部屋、清潔で使いやすいトイレ、広い駐車場などとても快適な施設となり、多くの方々に足を運んでいただきました。</p> <p>3密の回避や定期的な換気等により新型コロナウイルス感</p>	

	<p>染症への警戒は継続しつつ、今年度も趣味や軽スポーツ、仲間との交流の場として、高齢者の心身の健康の維持やフレイル予防を支援しました。また新館移転にあたり、各種グループ活動への貸室ルールを見直し、適切な利用につながるよう整備した結果、新規利用グループも増え、1日あたりの来荘者数は前年度比119%となりました。</p> <p>「さわやか講座」では、今年度も連続講座としてグラウンドゴルフ講座を開講しました。初心者からベテランまで楽しめる講座として多くの参加があり、主催する大会へも積極的な参加がありました。また法人の豊富な人材を活かし、プラザ職員を講師とする各種講座を開講して、フレイル予防や健康づくりへの関心を高めました。</p> <p>レクリエーション事業では、簡単なルールと動きで初心者でも楽しめるニュースポーツ「スカットボール」を7回実施しました。クラフトバンド手芸や編み物も安定した人気があり、多くの方に趣味の広がり場を提供しました。</p> <p>今後も健康相談等を通じて地域の高齢者の気持ちに寄り添い、安全・快適な交流の場を提供することで、心豊かな充実した毎日を過ごしていただけるよう努めます。</p>
<p>(3) アンケート結果の概要</p>	<p>アンケート調査の結果、利用者の満足度は、施設全体は99%以上、職員対応は100%、施設の衛生管理は100%、安全対策は99%以上となった。よって、現在の指定管理者は、多くの利用者から好感を持って受け入れられていることが分かった。</p>

## 2 施設の利用状況

(1) 利用者数	利用者数		特記事項
	今年度	前年度	
	19,816人	11,848人	
(2) 事業の内容	<p>(1) センターの使用許可に関する事務</p> <p>(2) センターの維持管理に関する業務</p> <p>(3) 高齢者の生活、住宅、身上等に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(4) 高齢者の疾病の予防、治療に関する相談ならびに指導業務</p> <p>(5) 高齢者の生業および就労等の指導業務</p> <p>(6) 高齢者の後退機能の回復訓練ならびに指導業務</p> <p>(7) 高齢者の教養の向上およびレクリエーション等の事業</p> <p>(8) センターの利用者の利便性を向上させるために必要な業務</p>		

## 3 収支（見込み）

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	60,794千円	
	市からの指定管理料	60,683千円	
	その他の収入	111千円	
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	55,584千円	
	主な支出	人件費	29,525千円
		光熱水費	4,163千円
		修繕料	862千円
		業務委託費	4,992千円
		その他	16,042千円